

ヒートポンプ式冷温水システム
集中管理用（M-NET 用）制御アダプター
形名

VEZ-MNT01A

据付工事説明書

販売店・工事店様用

- ・この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
- ・据付工事を始める前に、この据付工事説明書とヒートポンプ式冷温水システム「エコナクール」及び三菱電機ビル空調管理システム（MELANS）「システムリモコン」の据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- ・この制御アダプターは、三菱電機ビル空調管理システム（MELANS）「システムリモコン」と組み合わせて使用し、「システムリモコン」と、ヒートポンプ式冷温水システム「エコナクール」との通信を中継するものです。
- ・据付工事は販売店様・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。
- ・間違った工事は故障や事故の原因になります。
- ・お客様ご自身での据付けは故障や事故の原因となります。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。

据付工事が終わりましたらこの据付工事説明書と共に、お客様にお渡しください。



もくじ

安全のために必ず守ること	2
使用部品	3
使用箇所	3
適用機種	3
システム構成	4
M-NET 配線設計	5
据付場所の選定	6
据付方法	7
システムリモコンの設定	12
据付工事後の確認	15
試運転	15
お客様への説明	15
こんなときはもう一度お確かめください	裏表紙
よくあるエラーコード	裏表紙

安全のために必ず守ること






お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

■“図記号”の意味は次のとおりです。

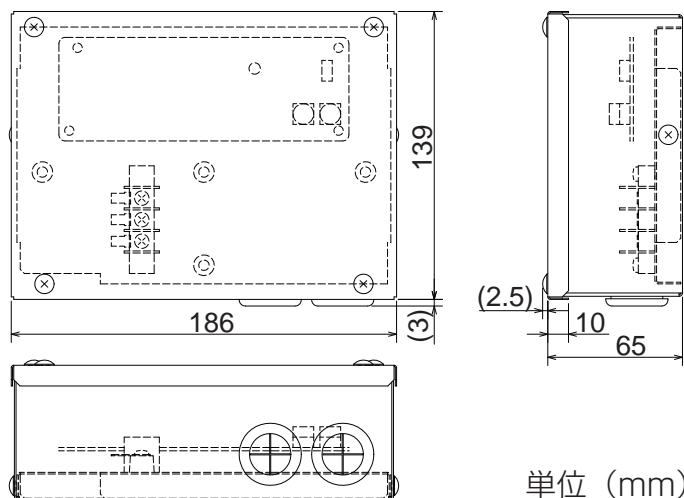
 禁止	 水ぬれ禁止
 分解禁止	 指示に従う

 警告	
 禁止	高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災のおそれがあります。
 水ぬれ禁止	製品を水のかかるところに据付けない 漏電・感電の原因になります。
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります。
 指示に従う	指定の電線を使用し、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります。 電気工事は電気工事士の資格のあるかたが電気設備に関する技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良・誤った電気工事は感電・火災のおそれがあります。 製品金属部がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接触しないように据付ける 漏電した場合、火災の原因になります。 前面パネルは電気工事後、必ず閉める ほこり、湿気などの侵入による、漏電、火災の原因になります。

 注意	
 指示に従う	据付けの際は手袋を着用する けがの原因になります。 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 行う 落下によるけがの原因になります。
 指示に従う	本体・部品の据付けはねじれ、変形がないように確実に 行う 落下によるけがの原因になります。

使用部品

1. 外形寸法図



2. 同梱部品

- ・ 木ネジ (φ 3.5 × 32) …… 2本
- ・ 取扱説明書 …… 1冊
- ・ 据付工事説明書 (本書) …… 1冊
- ・ アドレス対応表 …… 1枚

3. 別売部品

- 通信ケーブル …… 1本
- VEZ-MNT10SC (10 m)
- VEZ-MNT15SC (15 m)

4. 現地手配部品

M-NET 伝送線

線種	シールド線 CVVS・CPEVS・MVVS
線数	2芯ケーブル
線径	CVVS, MVVS : 1.25mm ² (AWG16) 以上 CPEVS : φ 1.2mm (AWG16相当) 以上

使用箇所

1. 適用機種

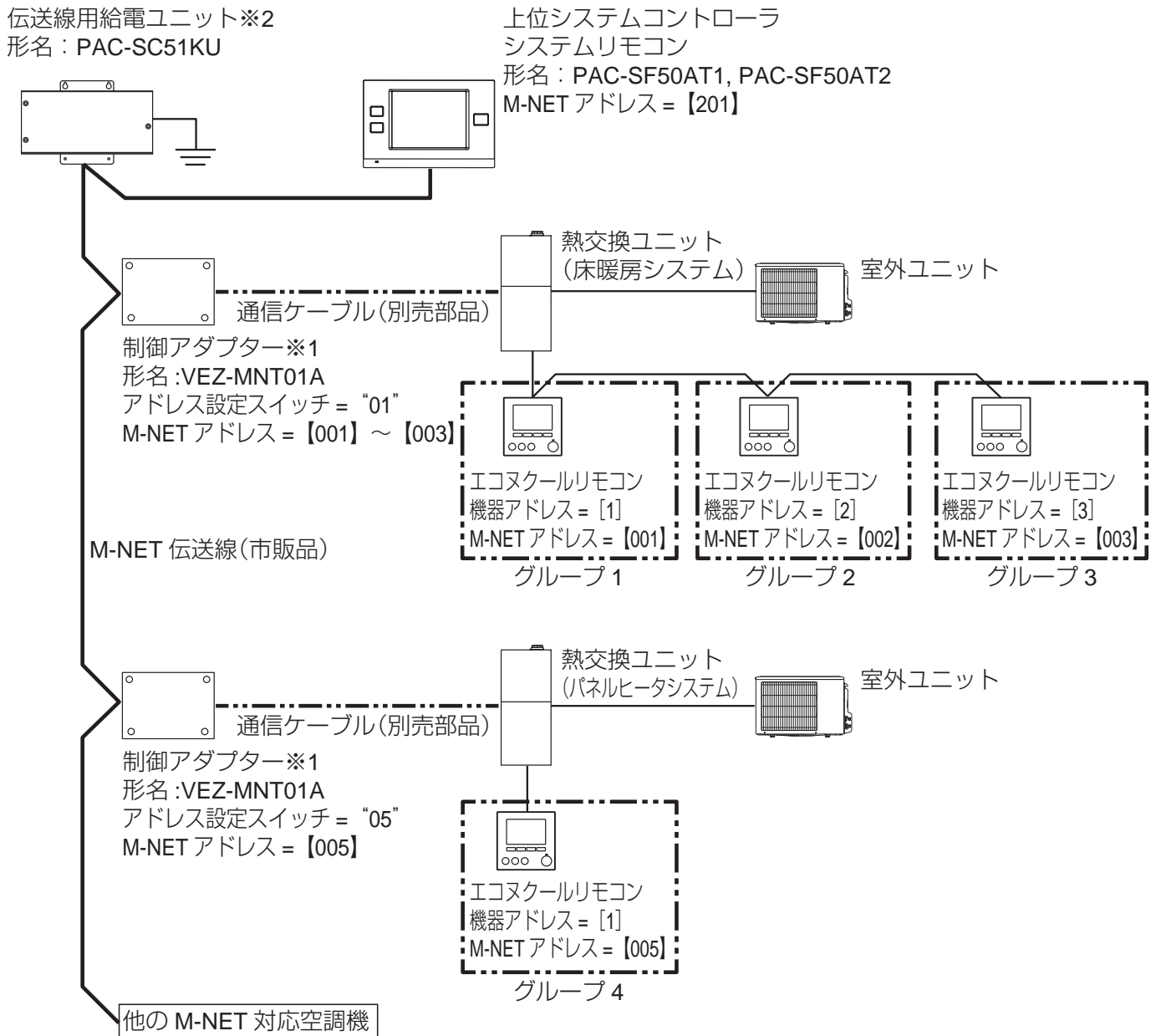
機種名	形名
ヒートポンプ式冷温水システム「エコヌクール」 熱交換ユニット	VEH-○○○HCDタイプ VEH-304HCD-K、VEH-406HCD-K、/M、 VEH-507HCD-K、/M、VEH-712HCD-K、/M
三菱電機ビル空調管理システム (MELANS) システムリモコン	PAC-SF50AT1、PAC-SF50AT2 ※ 上記の形名以外は使用できません。異なるシステムリモコンを使用した場合は、正しく表示、動作しない場合があります。
三菱電機ビル空調管理システム (MELANS) 伝送線用給電ユニット	PAC-SC51KU ※ 給電ユニットの能力を超えるようなシステム構成の場合は、伝送線用給電拡張ユニット PAC-SF46EP も必要です。

※ 2023年3月現在

※ 三菱電機ビル空調管理システム (MELANS) 対応 (M-NET 対応) の空調機等とのシステム構成も可能です。

使用箇所 つづき

2. システム構成



- ・ 本図は電源線を省略し、伝送線、通信線についての構成のみ記載しています。
また、【】、[]のアドレス番号は設定例を示しています。
- ・ M-NET 伝送線のシールドアースは、伝送線用給電ユニットにて一点アース処理してください (D 種接地)。

- ※ 1 本機は、熱交換ユニット 1 台に対して 1 台必要です。また、M-NET 伝送線から受電しています。
- ※ 2 伝送線用給電ユニットへの接続機器の消費電力係数、L 係数の合計が給電ユニットの能力を超えないようにしてください。超える場合は、給電拡張ユニットもご検討ください。
消費電力係数、L 係数の詳細はシティマルチの設計工事マニュアルを参照してください。

制御アダプターの消費電力係数、L 係数

形名	消費電力係数	L 係数
VEZ-MNT01A	3	2

・ M-NET アドレスの設定

	アドレス設定	M-NET アドレス範囲								
エコクールリモコン (制御アダプター)	・ エコクールリモコンの機器アドレス 1 が制御アダプターのアドレス設定スイッチのアドレスとなります。 ・ エコクールリモコンの機器アドレス 2 以降は、アドレス設定スイッチ+ (エコクールリモコンの機器アドレス-1) の M-NET アドレスが設定されます。 例) アドレス設定スイッチ “10”、機器アドレス = 1、2、4 の場合 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>機器アドレス</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>M-NET アドレス</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> </table> ※ エコクールリモコンの機器アドレス 3 が未使用のため、M-NET アドレス 12 は無し	機器アドレス	1	2	4	M-NET アドレス	10	11	13	01 ~ 50
機器アドレス	1	2	4							
M-NET アドレス	10	11	13							

・ システムリモコン接続可能台数

エコクールリモコン (他機器：室内ユニット、ロスナイ、汎用機器等も含む)	最大 50 台 (最大 50 グループ)
1 グループの登録台数 (エコクールリモコンの場合)	1 台 ・ 2 台以上、または異なる機種 (室内ユニット等) と同一グループの設定は正しく動作しません。

3. M-NET 配線設計

(1) M-NET 伝送線の種類

線種	シールド線 CVVS・CPEVS・MVVS
線数	2 芯ケーブル
線径	CVVS, MVVS : 1.25mm ² (AWG16) 以上 CPEVS : φ 1.2mm (AWG16 相当) 以上

(2) M-NET 伝送線の線長

制限の種類	最大配線長
① M-NET 伝送線 (集中管理用伝送線) の最大給電距離 ・ 伝送線用給電ユニット-各制御アダプター間 ・ 伝送線用給電ユニット-システムリモコン間	最大 200m
② M-NET 伝送線 (集中管理用伝送線) の最遠端距離 ・ システムリモコン-各制御アダプター間の伝送線最遠長※ 1	最大 500m ※ 2

※ 1 他の空調機器も構成される場合は、空調機器の室内外伝送線長により最遠端の部位が異なる可能性があります。M-NET 伝送線の設計に関する詳細情報は、システムリモコンの据付工事説明書、および空調冷熱ネットワーク設計マニュアルをご覧ください。空調冷熱ネットワーク設計マニュアルは WIN2K(<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/top.do>) からダウンロードできます。

※ 2 制御アダプターは、最遠端距離 1,000m 非対応の M-NET 機器です。

・ M-NET 伝送線の配線例 (「エコクール」のみの構成例)

各システム内の集中管理用伝送線の許容長は以下の式で表されます。

“a - c” は図中の各配線部を示しています。

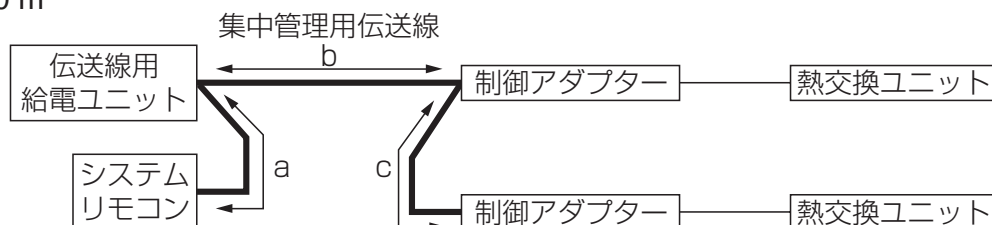
下記の制限は、M-NET 伝送線上で通信を確実にするための距離制限です。

①この距離を超えると給電端末への供給電圧が低下し、通信・制御不能となる場合があります。

$$a \leq 200 \text{ m} \quad b \leq 200 \text{ m} \quad b+c \leq 200 \text{ m}$$

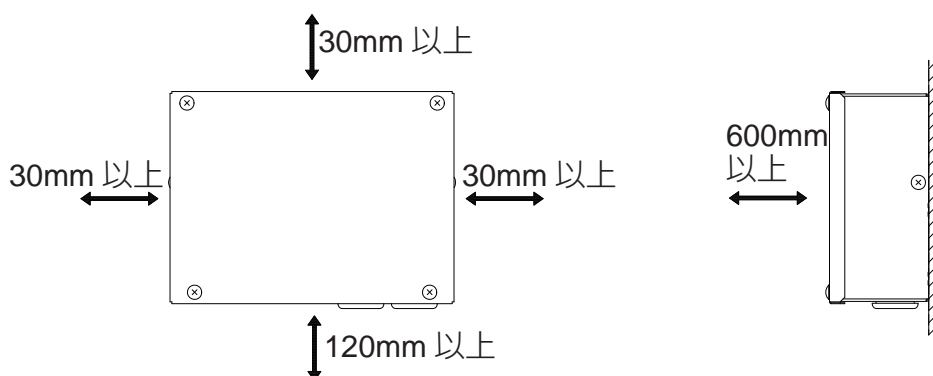
②この距離を超えると末端の機器まで M-NET 信号が届かなくなり、通信・制御不能となります。

$$a+b+c \leq 500 \text{ m}$$



据付場所の選定

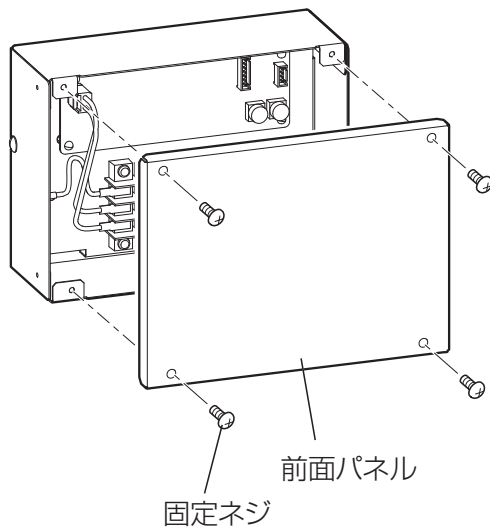
- 三菱電機ビル空調管理システム（MELANS）以外に使用しないでください。
- M-NET 伝送線の配線許容長内となる位置、熱交換ユニットと専用通信ケーブル長で接続できる位置に設置してください。
- 周囲温度 0 ~ 40℃、湿度 20 ~ 85%RH 以内、温度変化で結露しない屋内に設置してください。（床下・天井裏・壁内（制御盤内等）の点検口からの点検可能な隠ぺい部など）
- 次のような場所でご使用になりますと故障の原因になることがありますので、設置しないでください。
 - ・海浜地区など塩分が多い所
 - ・温泉地などの硫化ガスが発生する所
 - ・その他周囲の雰囲気等特殊な所
 - ・油が多い所や油煙がたちこめる所（調理場や機械工場などではプラスチックが変質破損することがありますので、ご使用は避けてください）
 - ・クレーン車、船舶など移動するものへの据付け
 - ・屋外または車庫・納屋など屋外と同環境
 - ・浴室などの湿気の多い所
 - ・振動または衝撃を受ける所
 - ・電気配線が高温部分、鋭い角部に触れる所
- 次のような場所でご使用になりますと誤動作の原因になることがありますので、設置しないでください。
 - ・インバーター機器や高周波利用機器に近接する場所
- 次の条件に合った場所に設置してください。
 - ・本体を十分ささえられ振動がでない強度のある所
 - ・制御アダプターの設定、メンテナンスが可能な場所
- 下記の寸法を守って設置場所を選定してください。
 - ・メンテナンスに必要なスペース



据付方法

1. M-NET 伝送線、通信ケーブルを配線する

- ・ 制御アダプター取付位置近くに M-NET 伝送線（市販品）を配線する。
- ・ 通信ケーブル（別売部品）を取付位置近くと熱交換ユニットに配線する。
 - コネクター（白）：制御アダプター側
 - コネクター（緑）：熱交換ユニット側



2. 制御アダプターの前面パネルをはずす

前面パネル固定ネジ4本をはずして、前面パネルをはずす。

お願い

- ・ ネジをなくさないでください。

3. 制御アダプターを付属の木ネジ（2か所）で固定する

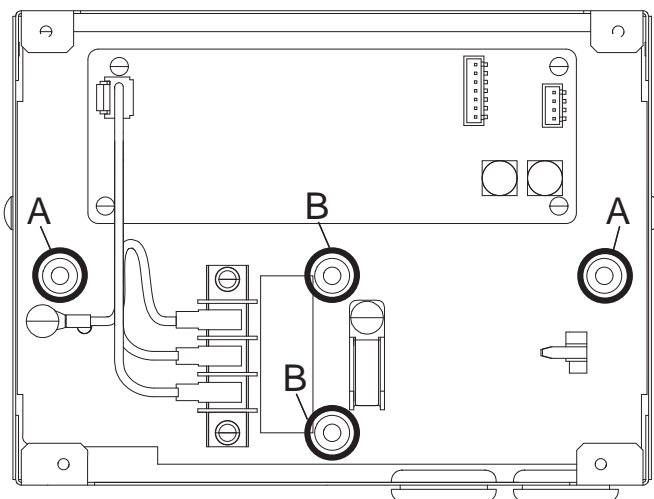
固定穴4か所のうち、2か所（A部）にて、固定してください。

A部での固定ができない場合は、B部で固定してください。

壁取付けする場合は M-NET 伝送線、通信ケーブルの引込口が下側になるようにしてください。

お願い

- ・ 固定時にドライバー等を基板に接触させないでください。故障の原因になります。



注意

- 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う
- 指示に従う
- 落下によるけがの原因になります。

据付方法 つづき

4. 結線をする

- (1) 通信ケーブル（別売部品）のコネクター（白）をコードブッシュ（右）に通して、CN5（IT通信）に接続し、コードバンドで固定する。

お願い

- ・コネクターは奥まで確実に差し込んでください。

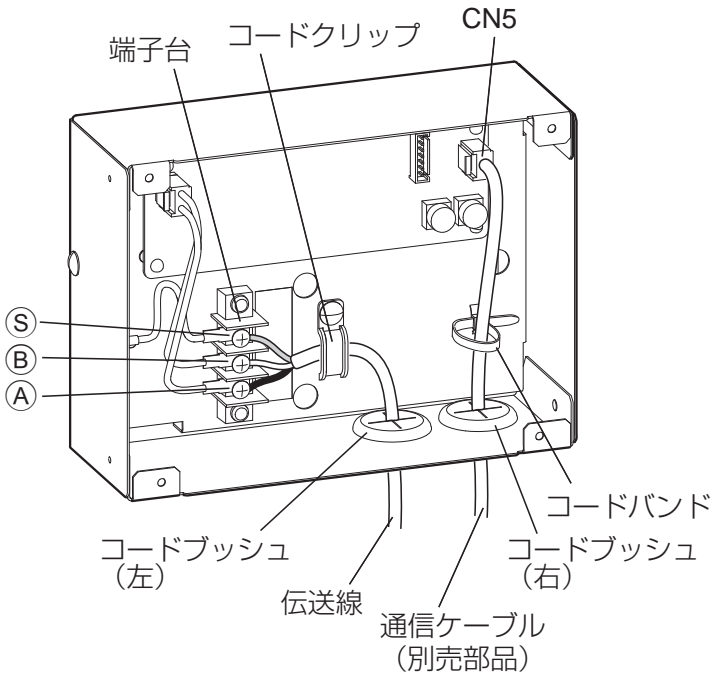
- (2) M-NET 伝送線をコードブッシュ（左）に通す。

- (3) M-NET 伝送線のシースを剥いて、端子台（A, B）に接続する。
伝送線は無極性です。

- (4) シールドを端子台 ⑤ に接続し、コードクリップで固定する。

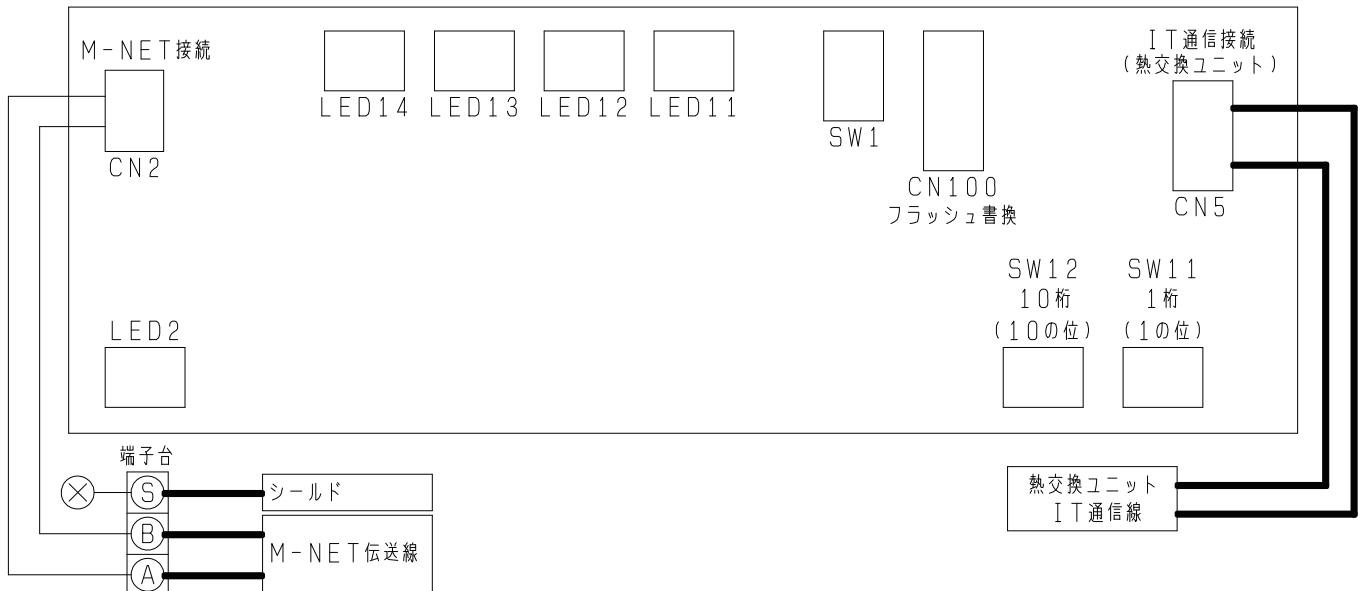
お願い

- ・インパクトドライバーや電動ドライバーを使用しないでください。
- ・0.5 ~ 0.98N・mの締付トルクで締め付けてください。
- ・端子台に M-NET 伝送線以外の電線を接続すると制御アダプターが故障するおそれがあります。



■ 結線図

工事店様が行う電気配線工事は太線部分になります。



5. 制御アダプターの M-NET アドレス設定、機能設定をする

(1) M-NET アドレス設定

- ① 基板上的アドレス設定スイッチ (SW11) を回して、M-NET アドレスの 1 の位を設定します。
- ② 基板上的アドレス設定スイッチ (SW12) を回して、M-NET アドレスの 10 の位を設定します。
※工場出荷時は「00」です。
- ③ アドレス対応表に記入し、メンテナンス時に確認できる場所に貼り付けてください。
システムリモコンでのグループ設定内容、接続する熱交換ユニットが判別可能な情報も記載ください。
貼付場所 (例)：制御アダプターの前面パネル表側

アドレス対応表 (同梱品)

接続熱交換ユニット (形名、製造番号など)：

機器アドレス	1	2	3	4	5	6	7	8
M-NET アドレス								
グループ番号								
機器アドレス	9	10	11	12	13	14	15	—
M-NET アドレス								—
グループ番号								—

- ・ M-NET アドレス欄：アドレス設定スイッチと機器アドレスから決まる M-NET アドレスを記入する。
- ・ グループ番号欄：システムリモコンで設定したグループ番号を記入する。
- ・ メンテナンス時に確認できる場所に貼り付けてください。

M-NET アドレス設定の注意事項

- ・ M-NET アドレスは 01 ~ 50 の範囲です。範囲外のアドレスにならないように設定をしてください。
- ・ 他の機器と重複しないアドレスに設定してください。
- ・ エコナクールリモコンの機器アドレス 1 が制御アダプターのアドレス設定スイッチのアドレスとなります。エコナクールリモコンの機器アドレス 2 以降は、アドレス設定スイッチ + (エコナクールリモコンの機器アドレス - 1) の M-NET アドレスが設定されます。
(下記、アドレス設定例を参照)

M-NET アドレス設定例

- ・ SW11,12=「10」の場合 (SW11=0、SW12=1)

例 1

機器アドレス	1	2	4	5
M-NET アドレス	10	11	13	14

※エコナクールリモコンの機器アドレス 3 が未使用のため、M-NET アドレス 12 は無し

例 2

機器アドレス	2	3	4	5
M-NET アドレス	11	12	13	14

※エコナクールリモコンの機器アドレス 1 が未使用のため、M-NET アドレス 10 は無し

据付方法 つづき

(2) 機能設定

基板上の機能設定スイッチ（SW1）にて、必要な機能設定を行います。

	機能	OFF（工場出荷）	ON
SW1-1	手元操作禁止連動 （設定水温）	連動あり	連動なし
SW1-2	LED12,13 点灯種別	M-NET 通信	IT 通信
SW1-3	機能なし	—	—
SW1-4			

手元操作禁止連動（設定水温）

- ・ システムリモコンにて設定温度の手元操作禁止を設定した場合に、設定温度（設定室温）と連動して、設定水温も手元操作禁止とする機能です。
- ・ 熱交換ユニットのシステムタイプが床暖房システムの場合のみ有効な機能です。
（床暖房システムについては、「エコナクール」の据付工事説明書をご覧ください）

手元操作禁止連動設定の注意事項

システムリモコンには、床暖房システムでの設定水温の操作機能がありません（連動あり設定時は設定水温の変更ができません）。

設定水温を変更する場合は、下記の手順にしたがい操作を行なってください。

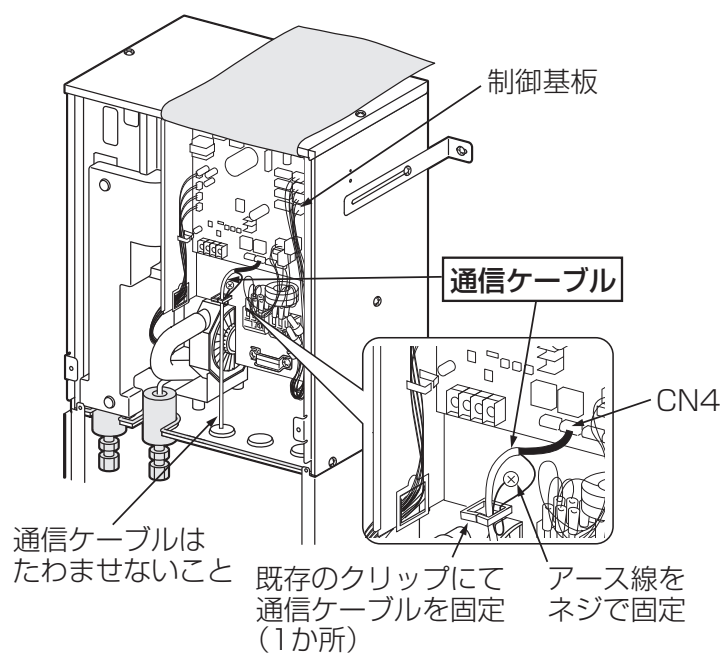
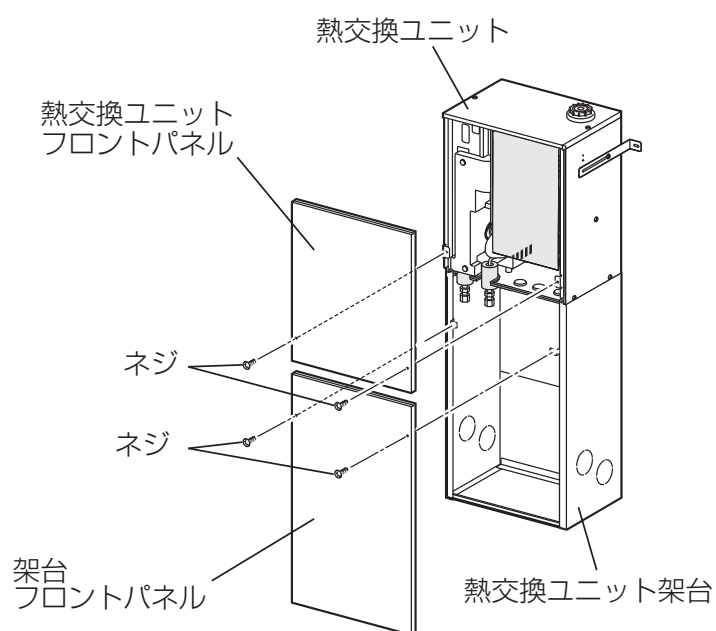
- ① システムリモコンにて、手元操作禁止設定の設定温度を解除する。
- ② エコナクールリモコンにて設定水温を変更する。
- ③ システムリモコンにて、再度、手元操作禁止設定の設定温度を手元操作禁止に設定する。

LED12,13 点灯種別

- ・ 基板上 LED12（送信状態）、LED13（受信状態）は点滅にて通信状態を示します。
- ・ M-NET 通信（システムリモコン側）と IT 通信（エコナクール側）のどちらの通信状態を表示するかを選択する機能です。

各 LED の状態説明

	消灯	点灯	点滅	備考
LED2	通電なし	通電中	—	M-NET 伝送線からの給電状態
LED11	正常	IT 通信異常	—	熱交換ユニットとの通信状態
LED12	通信なし	—	送信中	SW1-2 選択通信の送信状態 (OFF : M-NET 通信、ON : IT 通信)
LED13	通信なし	—	受信	SW1-2 選択通信の受信状態 (OFF : M-NET 通信、ON : IT 通信)
LED14	正常	—	0.5 秒点滅 : 2 重検知 (重複) 1 秒点滅 : 範囲外検知	M-NET アドレスの異常検知状態



6. 熱交換ユニットと通信ケーブルの接続をする

お願い

- ・通信ケーブル（別売部品）は、事前に取付位置に配線をしてください。

- (1) 架台のフロントパネルのネジ 2 本をはずして、フロントパネルをはずす。
- (2) 熱交換ユニットのフロントパネルのネジ 2 本をはずして、フロントパネルをはずす。

- (3) 熱交換ユニットの制御基板のコネクター（CN4）に通信ケーブルのコネクター（ミドリ）を接続し、通信ケーブルのアース線をネジで固定する。

お願い

- ・ノイズの影響を避けるため、電源線（熱交換ユニット、室外ユニット）と分けて、熱交換ユニットに引き込んでください。

- (4) 熱交換ユニット、架台のフロントパネルをはずしたネジ（各 2 本）で固定する。

7. 制御アダプターの前面パネルの取付け

制御アダプターのアドレス設定、システムリモコンの設定、試運転の確認後、前面パネルをはずしたネジ（4 本）で固定する。

システムリモコンの設定

本項では、ヒートポンプ式冷温水システム「エコナクール」に関する内容を記載しています。詳細の設定方法、共通機能は、三菱電機ビル空調管理システム（MELANS）システムリモコンの据付工事説明書をご覧ください。



1. システムリモコンの初期設定内容


下記にシステムリモコンの初期設定のうち、エコナクールが対応している機能、および本書での記載有無を示しています。機能対応：有（○）、本書記載：無（×）の内容は、システムリモコンの据付工事説明書をご覧ください。

画面	設定	機能	対応有無	記載有無
初期設定 1 基本システム	M-NET アドレス	システムリモコンの M-NET アドレスを設定します。	△	×
	コントローラ上位 / 下位設定	システムコントローラを上位または下位に設定します。	△	×
	操作禁止設定	本機から手元リモコンや他のシステムコントローラに対して操作禁止を行うかを設定します。	○	×
	操作禁止範囲の設定	操作禁止を行う場合、禁止先を手元リモコンだけとするか、他のシステムコントローラを含むかを設定します。	○	×
	外部入力モード	外部入力モードを選択します。	○	×
	フィルターサイン表示	[ホーム] 画面にフィルターサインを表示するか選択します。	×	×
	ドライモード	運転モードの「ドライ」を使用するか設定します。	×	×
	時刻発報	1 日 1 回、管理しているコントローラ・ユニットへの時刻合わせのための時刻発報を行うか設定します。	×	×
	運転モード制御	システムチェンジオーバーまたは運転モード切換制限を選択します。	×	×
初期設定 2 グループ設定	グループ設定	室内ユニット・ロスナイ・汎用機器・床暖房等・手元リモコン・システムコントローラを各グループに登録します。	○	○
	換気機器の連動設定	室内ユニットとロスナイの連動設定を入力します。	×	×
	一括抹消	すべてのグループ設定情報、連動機設定情報を抹消します。	○	×
メンテナンス	冷媒系表示	室外ユニットに接続されている室内ユニットアドレスを確認できます。	×	×
	異常履歴	過去に発生した異常を、最大 50 件まで記憶します。	○	○
	冷媒量の検査	室外ユニットからの冷媒漏れを確認するのに使用します。	×	×
	ソフトウェアの更新	ソフトウェアを更新します。	△	×
試運転	試運転	空調機の試運転をします。	×	×

※システムリモコンの初期設定内容は、ソフトウェアのバージョンにより異なる場合があります。

2. グループ設定

- ・ [グループ設定] 画面で、システムリモコンに接続される空調機やエコナクール（床暖房等）を登録します。
- ・ [サービスメニュー] 画面で [初期設定2グループ設定] ボタンにタッチ→[グループ設定] ボタンにタッチして、[グループ設定] 画面を表示させます。

※ 初回設定後は、[メインメニュー] 画面から [サービスメニュー] ボタンにタッチすると、[ログイン] 画面でパスワード入力が必要となります。パスワードはシステムリモコンの据付工事説明書にてご確認ください。

— エコナクール（床暖房等）登録時の制約内容 —

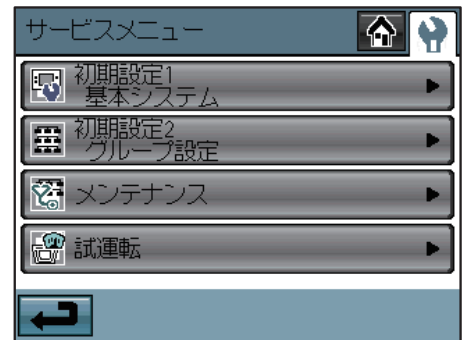
- ・ エコナクールのシステムタイプ（床暖房 / パネルヒーター）に関わらず [床暖房等] で登録してください。（[床暖房等] 以外で登録した場合は、正しく表示・動作しません）
- ・ 1グループに対して、1アドレスの登録としてください。複数のエコナクールリモコンを1グループに登録した場合、正しく動作しないリモコンが発生します。
- ・ 同一空調空間で、エコナクール（床暖房等）と空調機が設置されている場合でも、エコナクール（床暖房等）と空調機は別のグループで登録してください。

(1) グループ名設定

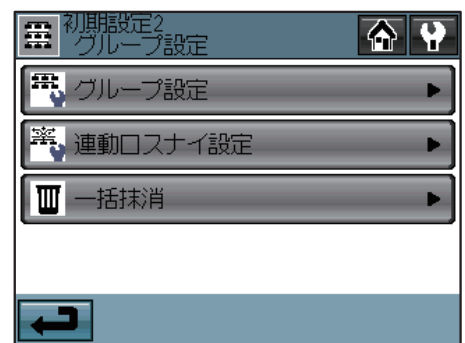
- ・ ① [グループ名入力] ボタンにタッチして [グループ名入力] 画面を表示し、グループ名を設定します。（半角 16 文字以内、全角 8 文字以内）
- ・ 同一空調空間で、エコナクール（床暖房等）と空調機の設置も可能なため、グループ名には“床暖房”などを入力することで、誤操作の防止が図れます。
- ・ 漢字は [テンプレート] ボタンにタッチして、用意されている単語を組み合わせて利用してください。複数の分類に分かれているため、適した単語が無い場合は、他の分類を確認してください。（床暖房は [位置・その他] に分類されています）

(2) エコナクール（床暖房等）をグループ登録する

- ・ ② [機種選択] ボタンにタッチすると [機種選択] 画面が表示されます。
- ・ ⑥ [機種切替] ボタンにタッチして、[床暖房等] を選択します。タッチするたびに機種が切り替わります。（空調機→ロスナイ→温水器→汎用機器→床暖房等→空調機）
- ・ ③ [ユニット選択] ボタンにタッチします。表示されるポップアップ画面で登録したい M-NET アドレスをチェックします。（1グループ=1アドレスです）
- ・ ④ [元リモコン選択] は設定不要です。設定すると正しく動作しません。
- ・ グループにシステムコントローラを登録する場合、⑤ [システムコントローラ選択] ボタンにタッチして表示されるポップアップ画面で、登録したいシステムコントローラの M-NET アドレスをチェックします。※ 1つのグループに対し、システムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。
- ・ すべての設定が完了したら [設定保存] ボタンにタッチします。



[サービスメニュー] 画面



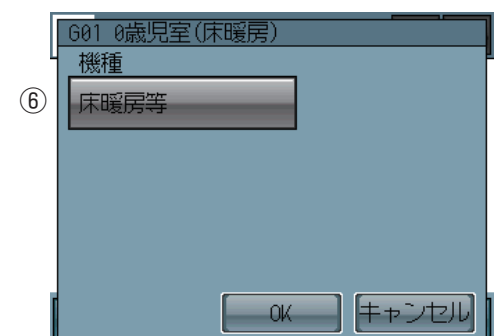
[初期設定 2] 画面



[グループ設定] 画面






[グループ名入力] 画面



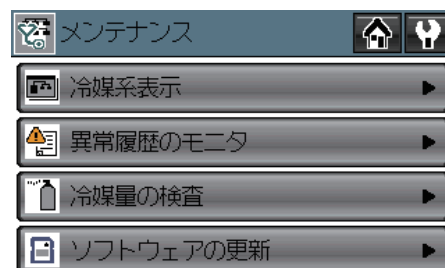
[機種選択] 画面

システムリモコンの設定 つづき

3. 異常履歴

[異常履歴]画面で、異常履歴の確認、履歴のクリアができます。
 [メインメニュー]画面で[サービスメニュー]ボタンにタッチ→[メンテナンス]ボタンにタッチ→[異常履歴]ボタンにタッチして、[異常履歴]画面を表示させます。
 異常発生日時の降順に表示されます。

	表示	機能
①	発生日	異常が発生した日時
②	異常発生アドレス	異常が発生したユニットの M-NET アドレス
③	検出元	異常を検知したユニットの M-NET アドレス
④	異常コード	異常に対応する異常コード
⑤	[異常履歴のクリア]ボタン	異常履歴をすべて消去します。



[メンテナンス]画面



[異常履歴]画面

エコナクール（床暖房等）利用時の制約内容

- ・エコナクール（機器）側に異常発生した場合は、異常コードは“0100”となります。異常の詳細内容は、エコナクールリモコンでのエラー表示（異常コード）を確認の上、ご対応ください。
- ・エコナクールリモコン単体の異常は、その M-NET アドレスにて上記異常が表示されます。熱交換ユニットの異常は、その熱交換ユニットに接続している全てのエコナクールリモコンの M-NET アドレスで上記異常が表示されます。

据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下記のチェック項目に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません。）

の中に✓印をいれて確認してください。

確認後、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。

- 「据付場所の選定」の項目を満足する据付場所ですか？
- M-NET 伝送線は端子台にねじ固定しましたか？ゆるみがありませんか？
- M-NET 伝送線および通信ケーブル（IT 通信線）はコードクリップ、バンドで固定しましたか？
- アドレス設定スイッチ（SW11, SW12）の設定は正しいですか？
- アドレス対応表に設定内容を記載しましたか？
- 機能切替スイッチ（SW1-1）の設定は正しいですか？
- システムリモコンの設定を行いましたか？
- システムリモコンからの運転確認を行いましたか？
- LED14 が点滅（異常）していませんか？
- 前面パネルはしっかり閉めましたか？
- 「安全のために必ず守ること」の「警告」と「注意」の項目を確認しましたか？

試運転

お客様立会いで試運転を行ってください。

- (1) 熱交換ユニットの電源（専用ブレーカーを「入」）を入れ、熱交換ユニット、エコナクールリモコンでの初期設定、試運転が完了していることを確認する。詳細は熱交換ユニットの据付工事説明書をご覧ください。
- (2) 三菱電機ビル空調管理システム（MELANS）側の電源（伝送線用給電ユニット）を入れ、システムリモコンでの初期設定が完了していることを確認する。詳細はシステムリモコンの据付工事説明書をご覧ください。
- (3) システムリモコンから、グループ毎に運転操作を行ない、該当するエコナクールリモコンが運転することを確認してください。システムリモコンの操作の詳細はシステムリモコンの取扱説明書をご覧ください。
(本機はシステムリモコンの試運転機能（サービスメニュー→試運転）には対応していません。上記の方法で試運転確認を行なってください。)

お客様への説明

- ・据付工事後の確認結果をお客様へお知らせください。
- ・別冊の取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ・この据付工事説明書は、別冊の取扱説明書とともにお客様へお渡しください。
- ・お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人様へ説明し、お客様へのご説明を依頼してください。

こんなときはもう一度お確かめください

現象	確認事項
LED14 が点滅 (0.5 秒点滅) (アドレス2重定義)	他の機器で、同一の M-NET アドレスの利用がないか確認してください。 重複しないようにアドレス設定を変更します。
LED14 が点滅 (1 秒点滅) (M-NET アドレス範囲外)	エコナクールリモコンで設定した機器アドレスと M-NET アドレス設定スイッチ (SW11, 12) の設定アドレスから、範囲外 (01 ~ 50 以外) となる M-NET アドレスが設定されていないか確認してください。 範囲外とならないようにアドレス設定を変更します。
エコナクールリモコンの台数 (M-NET アドレス数) が正しく認識されていない	・熱交換ユニットの初期設定が完了しているか確認してください。 ・熱交換ユニットの電源投入時に正しく認識していない可能性があります。一度、熱交換ユニットを電源リセットして、正しく認識するか確認してください。

よくあるエラーコード

システムリモコン表示	確認事項
0403 (IT 通信異常)	・熱交換ユニットの電源確認 (单相 200V) ・通信ケーブルの接続確認 ・通信ケーブルのシールドアースの熱交換ユニットでの接続の確認
6600 (アドレス2重定義)	他の機器で、同一の M-NET アドレス利用の確認
6607, 6608 (通信異常)	制御アダプタの M-NET 伝送線接続確認
0100 (ユニット異常)	エコナクールリモコンの表示エラーコードの確認 (詳細は、ヒートポンプ式冷温水システム「エコナクール」の据付工事説明書を確認)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。